（報告）平成 30 年度「愛知県立大学グローバル学術交流」特別授業 2

「原発・放射能の実態と実像―これからの世代へのメッセージ」

【講　　師】小出裕章　氏（元京都大学原子炉実験所助教）

【日　　時】平成 30 年 12 月 12 日（水）　13:00～14:30

【会　　場】愛知県立大学長久手キャンパス S 棟 S101 教室

【参加者数】148 名（受講生 16 名、愛知県立大学学生・教職員：71 名、一般：61 名）

小出裕章氏による講義及び学生との意見交換を行った。

（学生からの意見）（一部）

自分のなかでは知識の浅かった原子力発電や放射能についての問題に触れることで、改めて問題点を見つめなおすこととなりました。たいへん危険な作業が日々行われていることや、テレビやニュースなどでは報道しきれていない部分があることがわかりました。事実を曇りのない目で見ることが大切だと思いました。もう 1 つ思ったことは、かたよった意見だけをみないということです。いろんな角度から物事をみて、その物事の本質をみるということが必要だなと思いました。

今回お話を聞かせていただいた機会を大切にし、同じ年代へ自ら原発についての発信を心がけていこうと考えました。